

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
一般	10	05	10	0402	美術普及活動推進事業		
総合計画	分野	人づくり					
	政策	3-5	芸術文化の振興				
	施策	1	芸術文化活動の推進				
目的	芸術文化の振興のため、美術団体等が実施する活動に対し財政的な支援を行う。						
対象	市民、美術活動普及団体						
意図	萬鉄五郎の画業を顕彰するとともに、美術等表現活動の普及と当該活動による地域の活性化を目指す。						
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
萬鉄五郎祭関連事業に対する補助							
【関連事業の内訳】							
① 萬鉄五郎顕彰式典の開催							
② 児童等写生会及び作品展示会の開催							
③ 看視ボランティア等美術研修会の実施（2回）							
④ お茶会の開催							
⑤ 萬生誕祭、鉄人忌の開催							
※協賛事業 土澤アートクラフトフェアへの参画							
市民参画の有無 []							
市民協働の形態		共催		○ 実行委員会・協議会		事業協力・協定	
		○ 後援・協賛		○ 補助・助成		委託	
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	
① 萬鉄五郎祭関連事業の開催件数		件	計画	5	5		
			実績	5	5		
②		日	計画				
			実績				
③			計画				
			実績				
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	
① 関連事業の参加者数		人	目標	300	300		
			実績	215	323		
②		人	目標				
			実績				
③			目標				
			実績				
成果指標の達成度	目標値より高い		○	概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
○平成27年度は、土澤アートクラフトフェアだけの開催。 ○街かど美術館事業については改めて検討することとした。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	民間の団体が郷土の先人を顕彰し、美術普及と地域の活性化に貢献しようとする事業であり、負担金及び補助金交付基準要綱E-4に該当し、所要の財政支援を行うことは妥当である。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	各事業主体の底辺を拡大するとともに、市内各種団体等に呼び掛けることにより美術等表現活動に対する関心が高まり、成果の向上が期待できる。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	萬鉄五郎祭への職員の関与は、事業実施に係る市との連絡調整、市事業と密接な関係のあるイベントの経理事務など必要最小限にとどめている。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	○ どちらも削減余地がない	
	受益と負担の適正化余地	事業主体の自己資金、市補助金、その他参加者の会費により運営されており適正である。
	受益機会の見直し余地がある	
費用負担の見直し余地がある		
○ 適正である		
総合評価 …上記評価結果の総括		
萬鉄五郎祭関連事業は、日本近代絵画に大きな足跡を記した萬を顕彰するとともに、児童等が実地に美術に親しむ行事として意義のある事業であり、参加者から好評を得ているが、財務基盤が脆弱であるため継続した財政援助が必要である。 通算6回の開催となった街かど美術館は、当初の目的がほぼ達成されたことから当面休止し今後の再開は明確になっていないが、一環として開催した春・秋の土澤アートクラフトフェアは述べ40,000人の来場があり好評を博し、当該フェアは今後も継続の方針である。 なお、平成28年度以降の萬鉄五郎祭関連事業は、内容を精査のうえ事業を選別し、市、市民団体その他賛同者による実行委員会により実施することとした。		

平成 27 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	10	0402	美術普及活動推進事業

単位：千円

	26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費	10,250	250		△ 10,000
財源内訳	国・県	10,000		△ 10,000
	地方債	200	200	
	その他			
	一般財源	50	50	

事業期間	<input type="radio"/> 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-----------------------------	------	-----------------

部経営方針における目標
芸術文化の振興を図ります。

事業開始の背景・経緯
萬鉄五郎祭関連事業は、地元美術愛好団体が萬鉄五郎の顕彰のため、昭和56年から開催。美術館と地域住民の協働による地域おこしイベントとして平成17年から開催してきた街かど美術館事業は当面休止するが、アートクラフトフェアは継続実施する。

事業概要
萬鉄五郎祭関連事業に対する補助

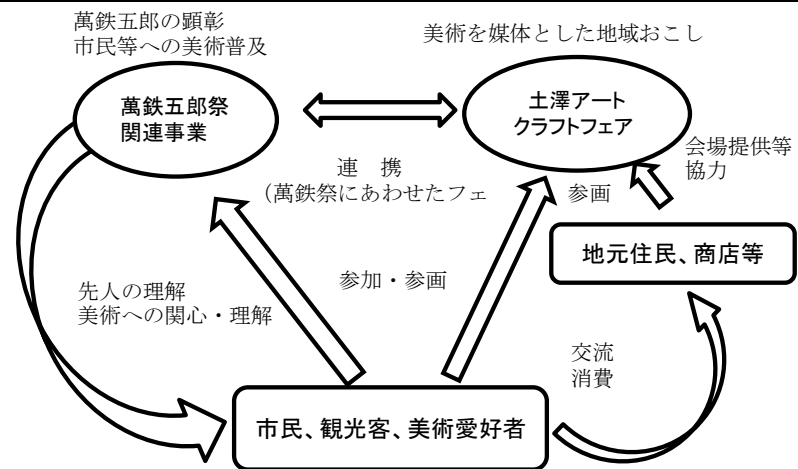
- 【関連事業の内訳】
- ① 萬鉄五郎顕彰式典の開催
 - ② 児童等写生会及び作品展示会の開催
 - ③ 看視ボランティア等美術研修会の実施 (2回)
 - ④ お茶会の開催
 - ⑤ 萬生誕祭、鉄人忌の開催

※協賛事業
土澤アートクラフトフェアへの参画

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等
・事業主体構成員の固定化、年齢上昇による柔軟性、機動力が減退(停滞)している。若返りと底辺(地域)の拡大が望まれる。
・過去6回開催した街かど美術館事業は一旦休止の状況であるが、作家、来場者等からは再開を希望する声がある。

担当部署 部名 まちづくり部 課名 萬鉄五郎記念美術 担当係長 伊藤真紀子 内線 42-4402 (単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



- 萬鉄五郎祭関連事業補助金 250
- (1) 事業主体：鉄人会(会員数50名) □
 - (2) 事業内容 ① 萬鉄五郎祭の実施(萬鉄五郎の顕彰)・・・式典
② 美術普及活動の実施・・・写生会、お茶会、美術研修会、萬生誕祭・鉄人
 - (3) 参加者・・・鉄人会員、萬遺族関係者、市民、美術愛好家、幼児・小・中学生等

自己資金	100	催事費	780
市補助金	250	遺族招聘費	110
会費(事業収入)	500	宣伝・通信費	70
雑収入	110	事務費	40
繰越金	40		
【収入】 計	1,000	【支出】 計	1,000

(参考) 市予算なし
※土澤アートクラフトフェア
春 平成27年5月3日、4日実施 257店の出店
秋 同 10月11日、12日実施 248店の出店